

子宮鏡検査に関する説明書

子宮鏡検査とは、

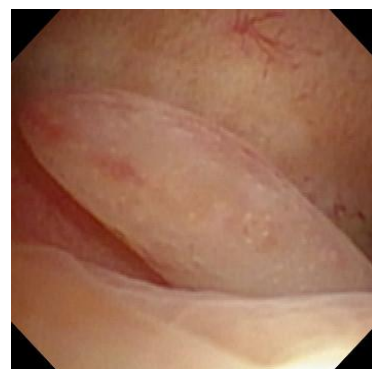
子宮鏡とは、子宮内に細いカメラを入れて、子宮内部を直接観察する検査です。超音波検査などで、子宮内部にポリープが疑われる場合や、何度か胚移植を行っても着床しない場合、また原因不明不妊の場合などの原因を検索するために行われます。

1) 目的

子宮内病変の検索、および治療後の効果判定のため

2) 対象となる方 (適応)

- ・超音波検査などで、子宮内部にポリープ、筋腫が疑われる場合
- ・複数回、胚移植を行っても着床しない場合 (反復着床不全)
- ・不妊原因が明らかでない場合
- ・その他、担当医師が必要と判断した場合など



子宮内膜ポリープ

3) 方法

前処置：子宮の入り口が硬い、あるいは極端に狭い方は、子宮鏡を安全に子宮内に挿入するために、事前に子宮頸管を拡張させる必要があります。検査前に子宮口から頸管拡張剤 (ラミケン等) を挿入し留置することで、子宮頸管を軟化拡張させる処置を行います。

麻酔：通常は、麻酔の必要はありません (ご希望がある場合には、麻酔を実施することも可能です)。

検査の方法：子宮鏡を子宮内腔に挿入して灌流液を注入し、子宮内腔を上げながら観察を行います。頸管部、体部、両側卵管口を観察し、内膜ポリープや、子宮筋腫、形態異常がないか、また子宮内膜の状態などを観察します。検査自体の所要時間は数分程度です。

4) 子宮鏡検査の実施時期

子宮鏡検査は、月経終了後から排卵日までの期間に行うのが最も適しています。月経周期が 28 日の場合、排卵日はおおよそ周期 14 日前後とされており、この時期に実施することで子宮内の状態を最も良好に観察することが可能です。

5) 子宮鏡検査のリスク

- ①出血：子宮鏡挿入の刺激で、2~3 日出血が続く場合がありますが、多くの場合は自然に止血されます。
- ②子宮穿孔：稀に子宮鏡を挿入した際に、子宮の壁に穴が開く (子宮穿孔) という合併症を起こすことがあり、穿孔が起きた場合には、修復のための手術が必要になることがあります。
- ③感染：検査は無菌操作で行われますが、処置後の感染症を予防するために抗生物質を投与します。

※万が一、発熱、強い腹痛、大量出血を認めた場合には、当院までご連絡ください。

6) 費用

別紙料金表を参照してください。

8) 代替手段

超音波検査、CT 検査、MRI 検査などの画像検査があります。ただし、子宮内の詳細評価は子宮鏡が最も直接的であり、代替検査では診断精度が劣る場合があります。

9) 本説明書に関わる同意書の提出について

本説明書に関わる同意書は本治療を実施する毎にその都度、提出が必要です。

東京 ART クリニック

子宮鏡検査に関する同意書

私は、医師やスタッフからの説明と文書によって下記の事項について十分理解し、納得した上で、子宮鏡検査を受けることに同意します。

また、上記処置に伴い副作用や予期せぬ合併症が生じた場合には、十分な説明を受けた上で、適宜必要な処置を受けることにも同意します。

- 子宮鏡検査の目的、対象となる方について。
- 子宮鏡検査の具体的方法はどのようなものか。
- 子宮鏡検査の適切な実施時期について。
- 子宮鏡検査によって考えられるリスクについて（出血、子宮穿孔、感染など）。
- 子宮鏡検査にかかる費用について。（別紙料金表参照）
- 代替手段について。

<注意事項>

- ① この同意書の提出がない場合は、子宮鏡検査を行うことはできません。
- ② この同意書は、今回の子宮鏡検査用であり、今回の検査後に、再び同じ検査を希望する場合、その都度、同意書の提出が必要です。
- ③ この同意書を提出後でも、検査開始前あるいは開始後であっても、いつでも自由に同意を取り消すことができます。また、医師が継続困難と判断すれば、ただちに検査が中止されます。

説明責任者 東京 ART クリニック 院長 小川 誠司

説明年月日 年 月 日 説明者 _____

同意年月日 年 月 日

住 所： _____

ご本人（診察券番号）： _____ 氏名（自署）： _____

患者様控えは、大切に保管して下さい。